

## シナノケンシ、絹糸紡績資料館の収蔵品を市に寄附 蚕都上田の貴重な資料を後世につむぐ

12月9日(木)

令和3年8月末に閉館したシナノケンシ(株)の絹糸紡績資料館。その蔵書と収蔵品を、信州大学繊維学部図書館と市に寄附していただきました。市に寄附していただいた収蔵品は、丸子地域の産業史を伝える貴重な写真類、絹糸系製品や一連の工程仕掛品、市ゆかりの石井鶴三氏(美術家)の作品など約180点。

市の歴史的文化的振興の発展に寄与されたその功績に対し、金子元昭様(代表取締役社長)に市長が感謝状を贈りました。収蔵品の一部は、丸子郷土博物館\*に常設展示していますので、「蚕都上田」の貴重な資料をぜひご覧ください。今後は市立博物館、市立美術館、公文書館などで展示・活用していく予定です。  
\*丸子郷土博物館の開館時間は 9:00~17:00(最終入館 16:30)、休館日は月曜日・祝日の翌日です。



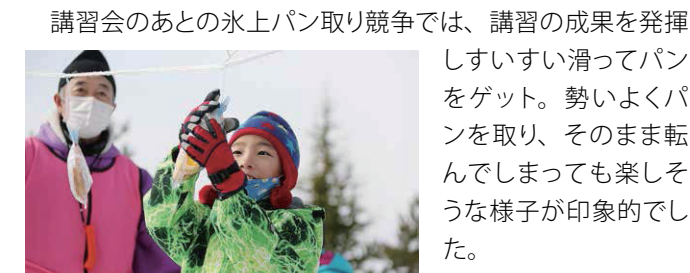
丸子郷土博物館



## スケートの季節がやってきた！ 市民の森スケート場まつり

12月19日(日)

上田市市民の森スケート場で、一年ぶりにスケート場まつりが開かれました。神津志保美さん、小林成光さん、佐々木優衣さんら豪華講師陣によるスケート講習会を受けた方は、約1時間の講習で見違えるほど上達していました。



講習会のあとの氷上パン取り競争では、講習の成果を発揮しすいすい滑ってパンをゲット。勢いよくパンを取り、そのまま転んでしまっても楽しそうな様子が印象的でした。



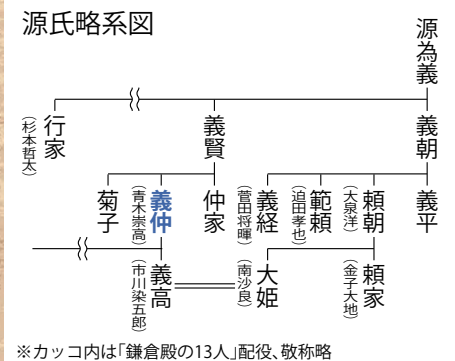
## 武石小学校5年生が丹精込めて 育てたお米『武光』を販売!!

12月2日(木)

武石小学校5年生が、アリオ上田でお米の販売を行いました。アリオで販売するのは、昨年に引き続き2回目。

児童たちは、田植えの前にお米に名前を付け、学校の田んぼで田植えから稲刈りまでJAの方に教えてもらいながら大事に育てました。「武石で育てたコシヒカリ」なので今年は『武光』と名付けました。

「甘くて美味しいお米はいかがですか」と児童の呼びかけとともに、用意した145袋(1袋450g入り300円)が瞬間に完売し、児童たちは大喜びでした。販売終了後には、購入していただいたお礼に合奏(Sing, Sing, Sing)を披露しました。



### 義仲公が大河ドラマに登場

今年の1月9日から放送が始まったNHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」に木曾義仲公が登場します。木曾義仲役に青木崇高さん、巴御前役に秋元才加さんの配役が決まっています。



### 木曾義仲拳兵の地「丸子」

NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」に登場  
義仲公と巴御前

木曾義仲公は、平安時代末期の武将で、清和源氏のうち河内源氏の流れをくみます。長野県歌「信濃の国」の歌詞で「旭將軍」とも呼ばれたのが義仲公で、幼名は駒丸。父は源義賢で、源頼朝の義経とは従兄弟にあたります。

### 丸子に2年半滞在

地元の豪族である依田氏、丸子氏、長瀬氏が義仲公を迎え入れ、丸子の依田城を拠点とし、2年半滞在して、拳兵の準備を進めました。

### 1180年 丸子で拳兵

後白河法皇の皇子である以仁王の令旨を受け、丸子地域御嶽堂の依田城を拠点に拳兵し、北陸道を進撃、倶利伽羅峠の戦いで、平維盛軍10万を撃破しました。京都へ行った義仲公は、皇位継承問



義仲公が戦勝祈願したとされる「岩谷堂」  
※この他にも丸子地域・塩田地域に多くの関連史跡があります。

信州丸子義仲情報  
市ホームページなどで  
情報発信中。



丸子地域振興課  
☎42-1041

## 「新国立劇場と上田市交流文化芸術センターとの連携・協力に関する協定」締結式

12月21日(火)

市では、新国立劇場と交流文化芸術センター(サントミュージ)とのこれまでの交流を踏まえ、新国立劇場運営財団と連携・協力に関する協定を締結しました。

交流文化芸術センターでは、開館以来、新国立劇場バレエ団による公演を3回実施しており、今後、新国立劇場との交流をさらに深め、同劇場によるバレエなどの定期的な公演や多様な連携事業、人材交流などを実施していきたいと考えています。



尾崎元規理事(左)と市長

背景のポスターは、2014年12月『シンデレラ』(左)、2017年11月『くるみ割り人形』(右)、2021年11月『白鳥の湖』(中央)

## 音楽を楽しみながら 手造り土器を焼く「縄文の火祭り」

11月27日(土)

真田地域石舟地区の歴史遺産を活用し、住民交流活性化事業に取り組んでいる「石舟歴史の会」が主催した「縄文の火祭り」が開催され、土器や土偶などの野焼きが行われました。

この土器などを制作したのは、石舟歴史の会と長小学校歴史クラブの皆さん。10月31日に制作して約4週間しっかり乾燥させ、待ちに待った野焼きの日を迎えました。焼いている間は、竹などの自然素材で作られた楽器の演奏を楽しみました。

